

INFORMATION

プラネタリウム冬の番組

新太陽系紀行

森本レオさんの語りとともに太陽系をご案内。今回は、探査機によっていろいろなことがわかった火星、土星、彗星をクローズアップします。

12月17日(土) → 4月9日(日)

平日	16:00
土曜日	13:30 17:30
日曜日・祝日 冬・春休み平日	11:30 15:30

今夜の星空と天文ニュース

今夜の星空の見どころと最新の天文情報。

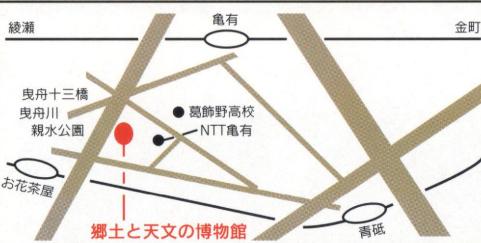
土曜日	15:30
日曜日・祝日 冬・春休み平日	13:30

キッズアワー

幼児～小学校低学年向け番組。

土曜日	11:30 (上映日に注意)
1月7・14・21日	「月旅行」
2月18日	「月旅行」
3月4・11・18日	「星座はじめて物語」

交通のごあんない



- 京成線〔お花茶屋〕から8分
- JR常磐線〔亀有〕から25分
- 京成タウンバス
(有57 亀有一タウンバス車庫)
〔共栄学園〕下車徒歩5分
- 駐車場に限りがございます。
電車・バスをご利用ください。

ホームページでも詳しくご案内しています。 <http://www.city.katsushika.tokyo.jp/museum/>



葛飾区郷土と天文の博物館
〒125-0063 東京都葛飾区白鳥3-25-1
TEL 03(3838)1101



MUSIC PLANET ミュージック・プラネット

満天の星と心地よいサウンドが織りなすファンタジックなひとときをどうぞ。

土曜日	19:00 1月14日、3月11日のみ19:30~
1月7・14・21日	「中島美嘉特集」
2月4・25日	「中島美嘉特集」
3月4・11日	「ザバダック特集」

プラネタリウムコンサート

3月18日(土) ザバダック&リヴェンテル・ライブ

5月13日(土) 祥子＆ラディッシュ 月と星のコンサート

時刻・申込方法など詳しくはホームページをご覧ください。

■ 料金 (入館料を含みます)

大人450円／小・中学生150円／幼児50円
土曜日は小・中学生以下無料

■ 休館日・休演日

月曜日 (祝日は開館)
第2・4火曜日 (祝日は開館し翌日休館)
12月26日(月)～1月4日(火) (年末年始)
1月17日(木)～18日(金) (機器保守点検のため)

■ 上映15分前までにご来館ください。

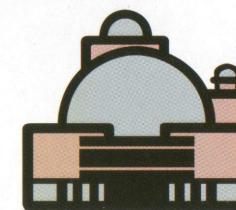


テンペル第1彗星に探査機が衝突した瞬間
NGAVIA - ODAHARA

PLANETARIUM

新太陽系紀行

Vol.59 2006・冬



KATSUSHIKA CITY MUSEUM

2006年・冬の星空より

冬空に、獲物を追うのは、おおいぬ座。



■シリウスはナンバーワン

冬は一年でいちばん空気が澄んでいて、星を見るにはいい季節です。それに、冬の星座には明るい星がたくさんあるので、葛飾でもたくさんの星を見つけることができます。その中で最も明るいのがシリウス。狩人オリオンを追いかけるように昇ってくる、おおいぬ座の白い星です。

オリオン座の赤い星ベテルギウス、おおいぬ座の白い星シリウス、こいぬ座のやや黄色い星プロキオン。この3つの星を結んだ大きな三角形を「冬の大三角」と呼んでいます。シリウスは冬の大三角の3つの星の中でも、ひとくわ明るく輝いています。

地球とシリウスの間は、8.6光年、つまり光の速さで8.6年かかる距離。だから、

今晚見えるのは、今から8年半前の姿。遠いような気もしますが、葛飾で見える星座の星のなかでいちばん地球に近い星です。

いちばん近くでいちばん明るい星、シリウスを探してみませんか。

■オリオンの連れた獵犬

おおいぬ座とこいぬ座、オリオン座の近くには2匹の犬がいます。この犬たちは、森の狩人オリオンが連れていた獵犬だとも言われています。とても足が速かったので、どんな獲物も逃すことなく捕まえることができました。冬の空では、オリオンといっしょにどんな獲物を追いかけているのでしょうか。

どんどん進化する！火星探査機

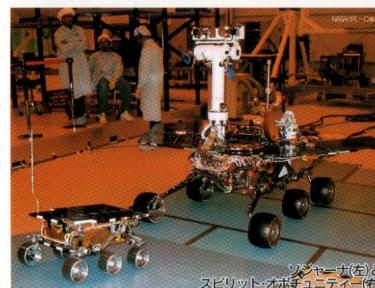
番組『新太陽系紀行』で登場する火星探査機。最初は火星に着陸するだけでしたが、やがて火星の表面を自由に動き回ることができる『車』へと進化していきました。そんな火星探査機の歴史をご紹介します。



バイキング1号、2号 まずは着陸に成功！

1976年、初めて火星への着陸に成功したのがこの2つの探査機です。

生命かいるのではないかと期待されていた火星は、赤い砂で覆われた世界。バイキングはロボットアームを使って表面の砂を調べましたが、生命の痕跡を見つけることはできませんでした。



ソジャー ナ 動き回れるようになりました

1997年に着陸した、マーズ・パスファインダーという探査機に乗せられていた小さな車です。

6つの車輪を使って、火星の表面を初めて動き回りました。

ただ、地球からの指示は着陸した探査機を通して行うため、着陸した探査機から遠く離れることはできませんでした。

スピリット、オポチュニティ 火星の長距離ドライブに挑戦中！

2004年に着陸した2台の探査車です。ソジャーよりも大きな車には全ての機能がつまっています。火星の上を自由に動き回ることができます。2005年12月現在も、着陸地点から何kmも離れたところをゆっくりと進みながら探査を続けています。



火星を進む探査機スピリット(想像図)